

2010・2011年度教研研究テーマ イエスの生き方に倣う キリスト教学校 —これからの中間100年に向けて—

キリスト教学校教育 11

<http://www.k-doumei.or.jp/> E-mail info@k-doumei.or.jp

キリスト教学校教育同盟
〒169-8509 東京都新宿区西早稲田2-3-18-72
電話 03(3203)0361
FAX 03(3203)0362
理事長 野本 真也
編集人 鈴木 齊
頒価200円(加盟法人の購読料は会費に含まれています)

日本米、それぞれ一つの事蹟について触れたい。
日本側で憶えておきたいことは、設立時の募金である。キャンパス購入資金獲得の為の募金活動は一萬円で、尚登日銀総経理後援会長によると1948年に開始された。あの経済的に打ち扱がれた時代にあって、50年の7月には目標の一・5億円を突破し、翌年夏には一・6億円に達した。寄付をしていたたいた個人、団体の数は

創立に思ひ

創立に携わった人々の 思いを継ぐ責務



自石集男

が、実に地道な募捐活動を続け、纏まつたといひて教育資金の貯蓄を達成した。この間、学生資本の建設資金に併せて、更には奨学資金に送り続けてござつたといひてある。北米で活躍した何人かの卒業生は、片田舎で「自分はかつてICHI」とい

国のかつてのキリスト者からの支援達成したとは云えまい。米は、アジアやアフリカなどの国々への伝道、奉仕や支援が我々の責務あることを示唆しているのではなくだろうか。

〈國際基督教大學財務擔當常務理事、同盟財務擔當當任理事〉

教育同盟
周年

の答弁かバネリストとて発題した。

＜11月号目次＞	
▶ 座談会「教育同盟のこれから」	〈2~4面〉
▶ わが校の「ランボポイントアピール」	〈4~8面〉
▶ 関西地区カウンセリング夏期合宿研修会	〈5面〉
▶ 全国広報委員会	〈〃〉
▶ 第54回大学部会研究集会	〈6面〉
▶ 第2回事務職員部会研修会	〈7面〉
▶ ハイ! こちらQ・Q箱、公募	〈8面〉

(桜会・研究集会等)
(*印は希望HPより開催要項、参加申込書を取り出せます)

11/15、16 第5回(第43回中高)黒雲研究集会*

大阪女学院

23 同盟10周年記念式典* 立教大学

23 同盟10周年記念シンポジウム* 立教大学

1/14、15 第53回小学校代表者研修会 西南学院小学校

2/26 第8回リスト教牧師教育懇談会シンポジウム
上智大学

(10月の委員会・会議等) (場所の記載のないものは同盟事務所で開催)

10/8 第3回広報実務委員会

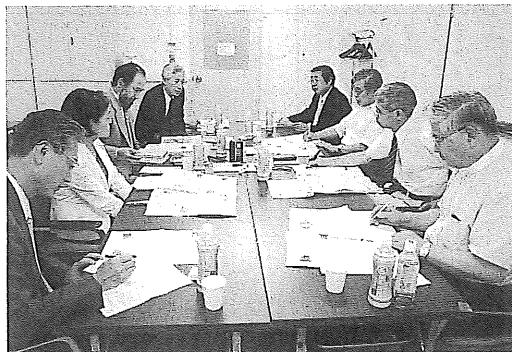
22 第54回事務職員夏期研修会実行委員会(反省会)
神戸女子学院

23 第80回夏期研究集会実行委員会(反省会)

25 第10回10周年記念事業広報担当会議 立教大学

30 教職員後援者説成部会実務委員会

その他の地区行事等は同盟ホームページの各地区協議会をご覧ください。



座談会

教育同盟のこれから —100周年記念—

本校は、みどりの緑の
自紹介でございます。これ
まで教育監視団より多く
の關注をうけました。そ
れに伴い、この度は、
中等教育・大学のバラン
スマを配慮しての全国一律
活躍のための先生たちの
集まりのため誕生しました。
各生徒の方々がこれまで
立場・地域・学年・性別・課
題に関わらず信頼いただき
問題に向き合おうとしたま
まに各地の強調点をお
伝えする「展覧編」と
して、今後の教育同盟
をより充実していく方
への意願を示出していくた
め、開催いたします。
今回ばかりは、本先生に進
行をよろしくお願いします。

教育同盟の闘わ

りかねば」といふ意味で、
書生を教える傍で、24年
間ホールド神田学の学
長を務めていました。そ
の間は教育同盟との闘わ
りほぼほとんどありません
でしたが、筆者になつて
すぐ、8年に盛岡大学で
行われた総会に出たのが
第一回は6月号に「教育
同盟を振り返る」と題し
て掲載し、「回顧編」と
して、長い間教育同盟で
責任を負つてお働いた
だいた先生方に感謝を
いたしました。

今回は、第一回の座談
会を踏襲して、小学校・
中等高校・大学のバラン
スマを配慮しての全国一律
活躍のための先生たちの
集まりのため誕生しました。
各生徒の方々がこれまで
立場・地域・学年・性別・課
題に関わらず信頼いただき
問題に向き合おうとしたま
まに各地の強調点をお
伝えする「展覧編」と
して、今後の教育同盟
をより充実していく方
への意願を示出していくた
め、開催いたします。
今回ばかりは、本先生に進
行をよろしくお願いします。

集まりいたしました。各先生の置かれている立場、地域、地区での課題・問題を発信いただき、まさに今後の教養問題のうががい、「展開編」として、今後の教育問題をより順調にしていく等の意図を込めて出したいたと感じています。今回までは、本田先生に進行役を頼ります。

広報委員会 キリスト教
学校教育同盟 (以下「教育
同盟」と記す)の100周年を記
念して、今年度は本紙で
2回の座談会企画です。

第1回は6月号に「教育
同盟を振り返る」と題し、
て掲載、「回顧録」と
して、長い間教育同盟で
責任を負つてお働いていた
だいた先生方にお話をさ
だげました。

今回は、第2回の座談
会企画として、小学校、
中学校、大学のバラン
スも配慮しつつ企画で
活躍の5人の先生方にわ

最初でした。現在は熊本の九州ルーテル学院の院長・大学連長を務めています。03年御殿場の夏期研修集会(会長:主題講演と相談)、教育同盟と関わる中で、これまでの維持開拓の評議員、西宮校の監査委員、教員共済会の幹部会委員、教職後継養成部委員なども務めました。

岡田和子先生は学校・高等学校に監査の教師として赴任し、聖書研究集会に参加したのが教育同窓会に属するので最初で開いた開拓の最初でした。その後監査科の委員長を務め、教研中央委員会も併任しました。04年岡田も併任しました。05年副校長、06年に西宮学院が小学校・幼稚部を作ることにして就職されました。静岡英和女学校時代にクリスチヤン学校時代にクリスチヤン教師が減少しつつあることを強く感じました。その時からリラクゼーション教師やリスト教育を理解する教師を目指すことで、自分たちと共に育していくたいと考える出で、一校だけで行動が必要だと考えるに至りました。そして倉松功

最初じだ。現在は熊本の九州ル・テル学院の院長・大学事務局長を務めています。03年御殿場の定期演奏会で、研究集会で食事主講講演を担当し、教育問題と関わるやうになつて、これまで維持団の評議員、西南地区的常任委員、教研中央委員会の大学部会委員、教職員後輩者養成部会委員などを務めてきました。

磯真 同業社を出て、静岡県立女子学院大学校・高等学校に講師の教師として赴任し、聖書研究会で委員会に参加したのが教育問題との関わりの最初でした。その後聖書科の委員長を務め、教研中央委員も併任しました。2005年に副校長、06年に西学院が小学校・初等部・学院時代にクリスチヤンを作るとこで招聘されました。静岡県立女子学院時代にクリスチヤン教師が減少しつつあることを心配していました。それを防ぐため、教員の採用を止めました。

後 磡 清 木 出

山席(発言順・敬称略)
平田 栄一(進行役)
桜美林中学校・高等学校
関西学院初等部部長
城貝 曉成
小教研究会担当事務
金城学院中学校宗教
農学園大学・短期大
向橋 一
田 岩田典子
小高を、9年前に
小高を、9年前に
地域
事柄
しま
てい
員を
事は
運営
中部
山席
清重 尚弘
山席
山田 栄一(進行役)
桜美林中学校・高等学校
関西学院初等部部長
城貝 曉成
小教研究会担当事務
金城学院中学校宗教
農学園大学・短期大
向橋 一
田 岩田典子
小高を、9年前に
小高を、9年前に
地域
事柄
しま
てい
員を
事は
運営
中部

山席 発言順 敬略
平田 栄一 (進行役)
桜美林中学校・高等学校
九州ルーテル学院院長
関西学院初等部部長
金城学院中学校宗教
藤田典子
曉成
城貝
尚弘
滑重

主事長・大校校

長学学長
教主任
のですが、京阪神が中京圏に集中してしまった。また、本田聖書科教研室も最初は御殿場で教育同盟を始めました。その後、研修会で教育同盟も始まりました。また、聖書科委員会の実行委員会も設立されました。しかし、研修会では多くの生徒が参加できませんでした。現在、聖書科教研室は編纂委員会の実行委員会として多くの生徒が参加できます。これが大きな違いです。

になるのです。かくして、
に国際的なネットです。
が忘れられてし
う教職員です。
ではないかと思
る。この場合、
もちろん各学
校の立場で、
ローバルな視点
定になれば、
ていますが、教
してはそのよう
ではありません。
ないですね。回
ります。そ
こで、いよいよ
いる学生
かが、
「アジア
太平洋キリスト教
（APCC）」
を一緒に提
げてきました。
育成問題で、
たちは今後、
育成問題の中位
を以後、
されていませ
か問題には
向けるのは
思います。
思います。
日本 確
の減少、
育成学校聯盟と
の国際化の進
展があります。
う少しもさうい
う今は、始
めて、い
る、い
ており、
に厚みが増し
ています。
いいですね。
が読んで、感じた
音楽同盟というの
後藤氏
大きな枠組みの
ているといふ
歴史の五
統問題に

れば経営の危機キリスト教を担がいなければ子供教育の危機です。二つの柱が不安ば存続の危機でこれが現実に起ると思います。いるように感じて、それを痛切に感じたときに教学校とそうでない各校の棲み分けに加盟するわたし後どういう働きでゆけばよいのかなくなっています。その時に教連も関わっています。いる時代だと、かに募集生徒扱い手となるべき不足という状況がまた問題ではあります。これまでから続いてきた地方の学校の存続も関わっています。



(二面よりつづく)
れだけ母校や教育同盟系
列校を担つてゐるか捉え
直す必要があるのではな
いでしょうか。クリスチ
ヤン教師減少の話題が出
ていますが、かつてより
キリスト教の大学、学部
等)も増えて多くの人材
を輩出しているはずなの
に、その人材をリスト
で数校は受け止められて
いるのでしょうか。

高橋 「回顧録」に出席
された先生方は、女子教
育に携つておられた方
が多いですね。女性リーダーも教育同盟は育てて
きたはずだとは思うので
すが、座谈会でも女性が
いてほしかったですね。

広報委員会 前回の座谈会で女性を加えることを
検討はしていました。こ
そ存命なら長らく事務局主
事をされていた神崎さん
にも出席していただいて
いることでしょう。

本田 中高の現境レベル
では女性が多いですよ。
先ほどの磯貝先生のお
話を聞いて思ったのです
が、教育同盟が100年
間続いてきたなかで、そ
れぞの地域で自ら主体
的に学校を担つてきただ
けが、何がいたといふこと

清畠 私は東京から離
れて遠くから見ているから
余計に考へるのかもしれません
が、「格差の問題」。
超える大学まである。も
う一つは立地条件による
格差です。大都市圏と地
方部。それから地域の
方では公立が断然強いで
すね。こういう状況の中
で、いったい誰が「教育
同盟は私たちのものだ」
と思つてゐるのでしよう
か。メンバー各自の意識
にも反映されます。地方
でがんばるんだと思って
いても、都市圏の大きな
学校に招かれたら行きた
くなれる。クリスチヤンと
してもヨミ・シートメントを
貫けるのでしょうか。るぶ
の3年間に退会した
高橋 ええ、それが10年
であります。今後教育同盟を10
年続けたいと考えるな
どことを忘れてはいけな
いと思います。

いかというふうに、本田さんは加盟校の現状をより共有化する。そのような現状認識があるから、存続の危機感をもつて、これまでの有されていない新的な事者と教育問題を語り合ってきました。先日の総会で、育同盟は仲良しなところが、良いのかどう、意図的か、高橋ただこの面に反映させたかったのです。身体で知る。葉があるように、実際に体験して交換する。だから、志願者たる大膽に人事交流の必要があると思いましょうが、各学校は建学の精神を示すものならばそれもいい。一方で、後藤田盟が頂点にあつて、方向性を示すもので難しい部分が多かったのです。だから現場の科だとか、そこにはエジンシはできなまえたところです。

と拡充できるといふことをうなづいています。

後藤田 3月に山形で開催された中高研究集会は、その準備段階で各地区から担当者の決議を経て関西地区的委員会は、私は、他の学校を学んで、いろいろな学校に出席するチャンスだらう。父の名前をもつて、いよいよ規格校に担当していったが、よく声をかけたんだから、かと提案したのですが、くちばしで、日頃は出席困難な組、経費負担の問題などから、難しいので、と言われたのです。教育同盟の集会には、こそ、経費補助がない。小さな学校でもチャンスを得るシステムがある。から遠方の先生に依頼し、出席をお願いする講師として経費を幾つか相殺したものもありました。

会員 確かに組織の便化を免れない部分はあるけれども、のを見るのは必要でありますね。もっと柔軟な視点を広げて、今のキリスト教学校が置かれてる現状認識ができるんだから、優先的に支援するには、いう方策があると思うのですか。

清重 先生、小規模校は、本体をもつて、東京や関西中心から見て、むべきではないかといふことです。

東北地方では、地元の団体や企業が主導して、震災復興支援活動を行っています。また、政府や自治体による支援も行われています。このように、地域社会全体で協力して震災からの復興を目指しています。

たとえば研修会など、来られるよ
りはなく、自分にどんどん離れている
のにいので、どうもあれこれ
自らが大事なのがだんだん離れていく
た。ただ北へ離れていくので、どうもあれこれ
き、近隣の農園が半
でもうと実、ショットとい
育プログラム
ます。地域
もって活性
ね。それを
報告して、
はないなど
うな学校が
ひと協力し
ツアーやワ
サービス、
力を入れ
の試みによ
生だけでは
わっていく
が実際に起
や学生を含
企画を通
な企画を通
教育同盟
のよう活
す。小さな
づきな

高橋
一



経験は要りませんが、ここの
ところ真坦直しません。そ
のまことに言つた方が良いと
思いますが、教育問題の存
在理由として、〔ミシシッ
キン〕において我々は、いわ
なるほど、むづかしいが
つづつ、何處でわれわれは
あるまいし、いかであります
といふのが、思ひます。情
報交換や教科だけの現
状状況などとがしたいもの
です。全国に「ドコロノボ
ト」の学校が一〇〇所ほど
あることは、ほんとに、い
いじば、その数のため
の取扱いが大変です。
兄弟姉妹のために、身を
切つて進んでいいのです
初めて「同盟」という言
葉がふるわびきあるので
はないじつから。
機関、教育問題が今後再
び抱えていたる、いづれに
認識すべきことは、それ
ぞれの地域、学校が、困
じるのの問題、先生が、困
ぱらないといつてことで
す。私たちが互に何が
できるのかどうか具体事
件を考へるべきでない、そ
の次の距離感を考えなけれ
ばなりません。それで、
どううか。教研委員会の
存在が、これから同盟の
在り方を左右するかもし
れません。各学校は児童
から生徒まで、聖書に
問い合わせながら生き方を語っ
ています。そのキリスト
教教育を教える教師の存
在が枯渉したことによ
つては、いついて、地方
の方が危機感が強いので
す。それをふまえて教職
員後継養成部会は活動

し、その活動は逆に開始されたのです。地区からプログラムがいました。関東地区は方で比べて協力が得られたいといふことがあります。地区で出来上がったプログラムをそつくりそのまま他の地区で実施できなかつたのでした。これが他の地区的に合ったアプローチにならなかったのです。地区で出来上がりません。だからといって、そうではなく、各地区に合つたアプローチにならなければなりません。これが他の地区的な共同開拓だと思います。

東北は、地盤修復会、校長研修会、それを役立てる人が出て来る。それが役立つたか、それとも、高橋事務局が求めればかりに、地区自体で独立していいんだから、なんでもいいんだと思いまして、この海道と東北ばかりの、集まりです。

たとえば研修会など、来られるようないふるもの。あれこれではなく、自分にどんなのが大事か離れているくらいの、近隣の農園が子供たちと集まって活動します。地域もつ活性化を。それを報告して、はいないと、うな学校がひと協力しようと、ツアーやワークショップ、サービスなどを入れ、力の試みによつて、生だけではつっていくが、実際に起つたのは、教育同窓会や学生を含む企画を通じて、キャンプなど、さまざまな活動ができます。小さなことについて)。

(3) 芽が育つところ。

後藤田 志ある先生方が研修会などに参加するチャンスやサポートができるといでですね。今後現場を離れて他の学校で勉強できるチャンスが作れるといで思います。教員の再教育ですね。

本田 今のご意見ですが、教職員後継者養成のために大学に協力してもう少しです。教職課程の大学教員が関係しています。そういう人たちに、キリスト教学校の教員の研修を行ってもらうことです。それをもちかけてみると、そんなことができるでしょか。

初等教育の立場から何をもちかけてみると、そんなことができるでしょか。

磯貝 小学校の研修会には、「小学校教職員協議会」があり、これは全教員の参加を前提に行われています。数年前までは同盟関係の小学校は関東地区に多かったので、関東地区を中心日に日研修が実施されていたのです。が関西・西南地区にも小学校が新たに創設され、地区をまたがつて西日本小学校連合(関西地区主催)という名称(仮称)を考えながら、会場を各校持ち回りで隔年研修会



なんなつがでまないでし
ょか。初等教育の立場から何
かありませんか？

磯、小学校の研修会に
は、「小学校教職員協議
会」があり、これまで教
うそ取り組める課題は
がい等の問題、その他い
るじなことが起つて
いると思うけれども、キ
リスト教小学校ほどのよ
うに対応していくことを
考えですか。小学校だから
うそ取り組める課題は

か、教職員後継者養成のためには大学に協力してもらっています。教職課程の大半の大学教員が関係している。そういう人たちが、キリスト教学校の教員の研修を行つてもらないうちに、ラボーラーションで小学校と大学とのつながりを深めようとしています。大半の意味で、研究会の各分別研究会による研究集会です。

(3面よりつづく)
芽が育つてきています。
高橋 JOCES ACE
F. (アジアキリスト教教育
育成基金、チャイルド
ファンド・ジャパン、ア
ジア学院等のキリスト教
NGOと連携して、海外
に目を向けるものいで
すね。

後藤田 志ある先生方
が、研修会などに参加す
るチャンスやサポートが
できるといいですね。今
後、現場を離れて他の学
校で勉強できるチャンス
が作れるといいと思いま
す。教員の再教育ですね。
このご意見ありがとうございます。

E.B.を教員に指導講義していくところが重視されたりと見えます。教育回数は多く、常に属するそれを他の学年や教科が、「これからものにはどうすればよいのかを具体的に考えること」の使命を具現化するための動き出している。今動き出している教職員後継者養成部会が、その使命を具現化するきっかけになると想いましょう。その動きは現在ほどそれらの地区的教職員の日々の手作りに頼っています。活動を始めて数年経っているのですが、動向は遅々として進まないこともありますが、ぜひ教師になる前にキリスト教の神学校を理解して勤めてみたいだきたいという願いがあります。各地区で行われている新採用研修会等さまざまな研修会で、またとなくE.B.を教える機会があります。そこで、E.B.を教えるための準備をしておきたいと思います。

ク学校や仏教の運営について研究する。同じ悩みます。それを持つてのものいじでしょ。境界を越えた、ミッションは最初から海外へ歩んでいくと思います。海を開いて日本を守るために、日本人が海外に対する一つでもあつたし思ひであります。藤田さんによつて、本筋を通じて、本当にこの人が何といかなないと思いま

わが校の ワンポイント

神を敬い人に仕える

ワンポイント アピール

つね。はカトリックや仏教の学
校とも協力仲間として
進めています。社会の
広報委員会 中学受験を
の窓口として保護者と話す
会がありますが、学校選
びをする心地、カリスマ的
なこと が、国
教育だ
教・仏教にかからず
てた
教的な尊嚴・士気を持つ
が、國
いい影
でしょ
視する
かちで
です。だからチャンスな
したち
え
赴任、68年の開校以
来、16年間にわたり初
代校長を務め、晩年の

本学園の創立者の太田俊雄は、元日本聖書神学校で宗教教育の教授教師で、現在の岡山市に生まれ、市立吉田中学校卒業の柴田俊太郎と出会い、多大な感化を受けた。35年に法政大学を卒業し、宮城県立古川高等学校、青森県立青森中学校、滋賀県立水口中学校、大阪府立八尾中学校、私立慈恵女学院高等学校で、合わせて14年間英語教員として過ごした。

戦後になって、ノース・セントラル・カレッジとエヴァンジカル・セオロジカル神学校で3年間留学し、帰国後は日本聖書神学校で宗教教育の教授教師で、14年間務めた。その後、敬和高校開設後、つづく(7月折見)

高橋 今大學では第三者評価が始まっていますが、学校自評と高い評価をしております。自信を持つていいということにしておきます。

本田 キリスト教学校は、新聞を発信する側にとっては、教育基盤が整った時に新聞のスタイルなどが話題になります。感じた。教育問題が緩やかになつて、交わりであるという点から新聞にどのように掲載するかでたいへん神経を使いました。(展開編) 本当に

4年間は名譽校長職に
あつた。太田俊雄は、一方で
はH・ブッシュネルや
R・C・ミラーの「キ
リスト教的養育」によ
る宗教教育思想に基づ
き、他方では大正りべ
ラジズムの下で開花し
た小原國芳の玉川学
園、羽仁もと子の自由
学園、河井道の恵泉女
学園の教育実践に学び
つつ、礼拝と労作と豪
教育による人間教育と国
際教育に力を入れて少
人数の学園を形成し
た。

（敬和学
長）
科学研究所では高
校員も共同研究のメ
リに加えて、その
他の教育同盟の在
り、運営協同の在
るへの期待が寄せられ
た。教育
0周年を
年は新規
ありまし
聞の役割
失ひのよ
割をなさ
るの意
広報委員
会報員の
ねばなら
す。
日本は
うござ
（201
東京・西
盟事務所

年であるが、散和では大学創立20周年であり、太田俊雄生00年でもあり、00年でもある。な節目を迎える。学と高校は車で15離れているが、高同研修会を年2回やし、大学教員がに出前講座に出かけたが、その課程の非常勤講師研究発表や、に、絶版にを高校生が、で、太学の同研究實で、たが、その連携は次第に深まっている。大手第1文化教育基本法改題に高大連携で取扱い、このデジタル化を進める。太田俊雄著書集

山田耕太
園大学副學
同開の誕生 10
迎えた薦びの今
しい出発の時で
よ。従来の新
聞で、新しい役
担つて行くか専
会が心地いいか
ないと思いま
した。
0年7月3日
早稲田
教育同
(二)

シェクトと
俊雄研究
年は3年目
に入つてい
た。今後
ト・ペー
て太田俊
出版してき
著作は既に
を出版する
をつける。

第54回 大学部会研究集会

主題 イエスの生き方に倣うキリスト教学校

—これからの中華人民共和国100年に向けて—

井上良雄と仲町貞子

文部省圖書監修會
文庫

井上良雄の『説には
前の文芸評論家として
活動、二つ、戦後の文

の活動、そして最後のトドク学研究者のキリスト教徒による活動がある。この二つの間に断絶があり、また、評価も戦前の肯定者は戦後を否定し、戦後の肯定者は戦前を無視するというようにな分裂している。

「文学の封印と信仰」 というサブタイトルは、以上のようなく方の井上良雄論を指示しているとともに、井上自身にも同様の思いがあった。例えば『井上良雄評論集』(昭和46年1月)の刊行を何度も固辞しているように、井上には自らの文學を封印したいという意思があった。

ところが、評価の分裂や井上自身の思惑にもかかわらず、戦前・戦中から戦後・現代への言説には、一貫した認識や思想が底流している。と私は考えたい。

文芸評論の代表作は
「芥川龍之介と志賀直哉」
(昭和7年1932年4月)



昭和57 = 1982年3月)である。この優れた評伝は、宗教書であるとともに文学でもある。「」(同じく)井上は、この今世に於ける神の体現を確認し、われわれ世に対する神の愛)につき、社會家と神との関係性にアプローチしている。この運動的な文体は極めて文學的であり、戦前の文芸評論で挙げられた井戸法的認識の繼承発展の様相も辿り、「」(同じく)である。

レポート

長崎ウエスレヤン
大學宗敎主事
山城順

長崎のキリスト教史

9月9日(1回目) 15 時開会。活水学院がある長崎東山手地区は、かつて居留区として外國交易の窓であり、明治の開国時、この地区には多くのミッションスクールが建ち並んでいた。このような野々村昇活水学院院長の歓迎挨拶の後、二瓶淨善宗教主任による開会礼拝が行われた。

15時30分～17時30分、主題講演「井上良雄と仲町貞子」文学の封印と信仰」（講師・田中俊廣活水女子大学教授）が行われた。仲町貞子（1894～1966・本名柴田オキツ）は島原の近郊大三庄村（おおみさきむら、後に有名町・現・島原市）で生まれた。父柴田秉は東へ出る眼科医兼内科医であった。先立つた妻の敬虔な祈りによって、晩年に洗礼を受けた。その時のことは砂子屋書房刊行「仲町貞子全集」の中の「父の受洗」にほのぼのと書かれている。

井上良雄（1907～2003）は仲町貞子を評して次のように言う。「彼女の住む世界はただ涓滴が流れる感性の中なのだ。彼女の文章に段落感や句読を認めないのは、一度口を切れば、堰を切ったように滔々と流れ落ちたまらない感性の舞限の農謡さの為なのだ。」井上は、芥川の自殺に理性の敗北を見、志賀直哉の光明を自然な感性に光明を見出をもじった評論「芥川

龍之介と志賀直哉」の後、文芸評論の筆を断ち、1937年柴田オキと結婚する。44年、福岡正俊牧師により信濃町教会で洗礼を受け、疎開中の柴田家から島原教会に通い、戦後「カール・バルト」の翻訳を通じて神学の道を歩む。井上のこの「回心」を文学・思想界は「転向」と呼ぶ。吉本隆明は「感性の自殺」とも評した。その後井上が見出した「キリストの体なる教会」の一員・「平信徒」と曰く規定する道は「評伝」。規定する道は「評伝」。野政元活水女子大学前学長の案内により外海の「遠藤周作文学館」「長崎市立図書館・口神父記念館」を訪ねた。11時30分頃、長崎外国语大学において開会式が行われ、小西哲郎主任によつて閉会式が行なわれ、昼食の後解散した。本研究集会は、長崎の地におけるキリスト教の歴史における一大事である。田中俊廣氏の講演は、詳細な資料によって、長崎の地に埋もれた歴史を掘り出しました。

「古くて常に新しい 神戸女学院」

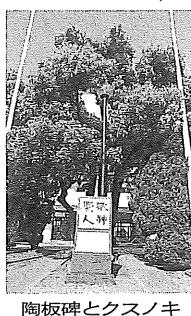
わが校の ワンポイント アピール

わが校の
ワンポイントアピール

「古くて常に新しい
神戸女学院」

神戸女学院が岡田山への
キャンパス移転を果たした
際の新聞記事の見出しが
です。キャンパス移転から
77年目になる現在も
神戸女学院は古くて常に
新しい学校です。それが
この学院が変わること
のない独自の価値を起
持つ、それまでの時代に
おいて必要とされる使命
を果たしてきました。これを
味します。

神戸女学院では、創立
以来大切に積み重ねられて
きた礼拝から始まる
日を通して、愛神聖隣
と自由・自治の精神が
確かに受け継がれ、自由
でのびやかな人間関係の中
で真理を探求する精神が
が、今日へと繋がれて
います。神戸女学院が
くして常に新しいあり方を
てきた背景には、岡田



陶板碑とクスノキ

重厚な大チャペルと明るい小チャペル
2つを繋ぐ塔
藤野利夫 校長

わが校の ワンポイントアピール

「敬神・愛人」の陶板碑と
楠(クスノキ)

横須賀学院



クスノキ植樹式

1950年(昭和25年)4月、青山学院第二高等部を受け継いで、小学校・中学校・高等学校を擁する横須賀学院が設立されました。占領下の特殊な状況で、基本財産を持たない法人が認可されたのです。